

公営住宅等の公募状況 ～少ない公募戸数、高い入居倍率～

(1) 空家住宅

(募集の内訳)

年度	一般	単身	多 家族	親子 ペア	シル バー	多 回数	特別 空家	合計	申込 者数	倍率
平成20年度	361	42	3	4	2	60	5	477	6,913	14.4
平成21年度	444	42	7	4	2	61	7	567	7,296	12.8
平成22年度	427	51	6	4	5	65	18	576	6,856	11.9
平成23年度	429	43	6	15	4	74	24	595	5,689	9.5

(2) 特定目的住宅（ひとり親世帯、障害者世帯等）

9月募集

(募集の内訳)

年度	ひとり 親 (注1)	心身障 害者	車いす	原爆・ 引揚者	子育て (注2)	犯罪・ DV被 害者 (注3)	合計	申込 者数	倍率
平成20年度	51	18	5	1	6	-	81	348	4.2
平成21年度	39	33	11	2	7	-	92	289	3.1
平成22年度	37	38	6	4	16	-	101	204	2.0
平成23年度	30	35	17	3	17	11	113	183	1.6

(注1) ひとり親世帯優先選考については、平成21年度まで母子世帯優先選考として募集を実施

(注2) 子育て世帯優先選考については、平成20年12月公募から募集

(注3) 犯罪被害者世帯優先選考については、平成23年10月公募、DV被害者世帯優先選考については、平成24年1月公募から募集

(3) 特定入居

り災、公共事業等

年度	り災	公共 事業等	住宅変更 募集	資格喪失に 伴う住宅変更	建替事業 (本移転)	合計
平成20年度	3	1	12	2	90	108
平成21年度	2	0	17	0	5	24
平成22年度	2	1	15	2	99	119
平成23年度	1	6	20	2	8	37

(2013年1月 都市計画局資料)

公営住宅・改良住宅等における空き家戸数、空き家の整備状況

公営住宅等 (単位：戸)

管理戸数	19,045
空き家戸数	657
整備戸数	748

改良住宅等 (単位：戸)

管理戸数	4,707
空き家戸数	45
整備戸数	28

※1 管理戸数及び空き家戸数は平成24年7月1日現在、整備戸数は23年度実績

※2 空き家戸数は、事故部屋等を除いた公募可能な空き家戸数

公営住宅・改良住宅のエレベーター設置状況

(1) 中高層住棟のエレベーター設置状況 (平成24年3月末時点)

(単位：棟)

	公営住宅等	改良住宅等	合計
管理棟数	408	135	543
うち未設置の住棟数	314	84	398

(2) 新たな設置数 (平成23年度しゅん工)

既存住棟への設置 3基

新築による設置 2基

市営住宅における孤独死の状況

(単位：人)

	公営住宅等	改良住宅等
平成23年度	27	6

※「孤独死」とは、単身生活者が病気等により、その居室内で誰にも看取られず死亡した事例を指すが、駆けつけた親族や知人により対処された事例もあると考えられ、正確な件数は把握できない。

(いずれも、2012年9月 都市計画局資料)

遅れている住宅・建築物の耐震化の進ちょく状況

<耐震化の進ちょく状況（耐震化率）>

	計画策定時点	現状
住宅	69.3%	75.7%
木造戸建住宅	51.0%	57.4%
その他住宅	84.4%	89.2%
特定建築物	82.1%	84.8%
防災活動拠点（病院，学校，避難所等）	70.3%	75.0%
要配慮者利用建築物（福祉施設等）	76.6%	80.2%
不特定多数利用建築物（映画館，ホテル，百貨店等）	78.0%	78.7%
特定多数利用建築物（事務所，賃貸共同住宅等）	85.5%	89.1%
緊急輸送道路等の沿道建築物	83.5%	84.3%
市有建築物（市営住宅等を除く。）	72.6%	91.4%
防災活動拠点	73.2%	93.1%
（学校施設（幼稚園を含まない。））	74.4%	96.0%
（庁舎，病院，避難所等）	67.8%	80.3%
要配慮者利用建築物（福祉施設等）	72.5%	84.4%
不特定多数利用建築物（図書館，集会所等）	66.9%	80.5%
（参考）市営住宅		57.1%

市営住宅に関しては、平成23年2月に策定された「京都市市営住宅ストック総合活用計画」において耐震化に係る目指すべき指標（平成32年度までに耐震化率90%（住戸割合））を設定し、同計画に基づいて耐震改修等を実施することとしている。

（2011年8月 防災対策総点検中間報告）

市営住宅の耐震化事業の進ちよく状況と今後の見通し

(1) 市営住宅の耐震化の現状（平成 24 年 8 月末時点）

市営住宅管理戸数	23,752 戸
耐震性能を満たしている住戸	13,598 戸
耐震性能を満たしていない住戸	10,154 戸
耐震化率	57 %

(2) 今後の進捗

- ・耐震診断、耐震改修等の耐震化事業に着手しているもの

向島市営住宅 2,612 戸

大受市営住宅 158 戸

西野山市営住宅 525 戸

- ・建替えによって耐震化が進むもの

鈴塚市営住宅 41 戸

- ・全面的改善によって耐震化が進むもの

山科市営住宅 178 戸

上記の事業により新たに耐震化される住戸数 3,514 戸

上記の事業による耐震化率の進捗見込み 72 %

(2012 年 9 月 都市計画局資料)

耐震診断及び耐震改修助成制度の利用実績

1 住宅・建築物の耐震化支援制度に係る実績について（過去5年分）

(1) 木造住宅耐震診断士派遣事業（平成8年度～）

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
126	137	115	211	175

(2) 京町家耐震診断士派遣事業（平成19年度～）

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
49	54	61	77	97

(3) 分譲マンション耐震診断助成事業（平成19年度～）

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
3	2	2	0	4

(4) 特定建築物耐震診断助成事業（平成20年度～）

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
1	1	3	5	4

(5) 木造住宅耐震改修計画作成助成事業（平成24年度～）

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
—	—	—	—	94

(6) 分譲マンション耐震改修計画作成助成事業（平成24年度～）

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
—	—	—	—	1

(7) 特定建築物耐震改修計画作成助成事業（平成24年度～）

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
—	—	—	—	0

(8) 木造住宅耐震改修助成事業（平成16年度～）

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
19	14	25	33	47

(9) 京町家等耐震改修助成事業（平成19年度～）

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
4	0	5	3	9

(10) まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム支援事業（平成24年度～）

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
—	—	—	—	598

(11) 木造住宅簡易耐震改修等助成事業（平成20年度～平成23年度）

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
1	0	4	1	—

(12) 分譲マンション耐震改修助成事業（平成20年度～）

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
0	0	0	1	0

(13) 特定建築物耐震改修助成事業（平成24年度～）

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
—	—	—	—	0

※ 単位はいずれも件。

※ 平成24年度の実績は12月末の受付件数を示す。

※ 受付後にキャンセルとなったものについては件数に含めていない。

2 木造住宅の耐震改修支援制度の平成24年度の実績について

	当初予算分	補正予算分	合計
まちの匠の知恵を活かした 京都型耐震リフォーム支援事業	480	118	598
木造住宅耐震改修助成事業	26	21	47
京町家等耐震改修助成事業	4	5	9

※ 単位はいずれも件。

※ 実績は12月末の受付件数を示す。

※ 受付後にキャンセルとなったものについては件数に含めていない。

(2013年1月 都市計画局資料)

分譲マンション支援事業（2011年度実績と2012年度予算）

1 分譲マンション管理支援事業

○平成23年度 予算：4,546千円

実績：マンション管理セミナー 2回開催

高経年マンション専門家派遣 6マンション9回派遣

高経年マンション実態調査

管理状況や管理組合の意識の把握等を行うため、平成2年以前に建築された663マンションを対象に調査

○平成24年度 予算：2,000千円

マンション管理セミナー及び高経年マンション専門家派遣の実施

2 分譲マンション建て替え・大規模修繕アドバイザー派遣事業

○平成23年度 予算：5,000千円

実績：7マンション34回派遣

○平成24年度 予算：5,000千円

7マンション×6回派遣

3 分譲マンション耐震改修助成事業

○平成23年度 予算：10,000千円

実績：1件（左京区・昭和52年建築・1棟47戸）

○平成24年度 予算：対象案件がないため予算措置をしていない。

4 分譲マンション共用部分バリアフリー改修助成事業

○平成23年度 予算：7,000千円

実績：8件

○平成24年度 予算：7,000千円

上限1,000千円×7マンション

増加する高経年マンション（建築後30年以上を経過した分譲マンション）

行政区	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	総計
平成23年度	19	29	51	36	9	29	17	24	38	8	52	312
平成31年度	39	88	77	111	25	47	55	40	72	18	91	663
増加率%	205	303	151	308	278	162	324	167	189	225	175	213

（2012年7月 都市計画局資料）

密集市街地対策について (2012年7月「密集市街地対策等の取組方針」)

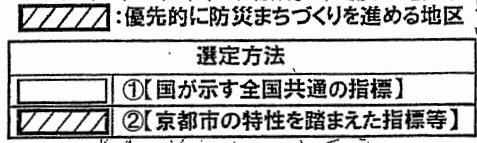
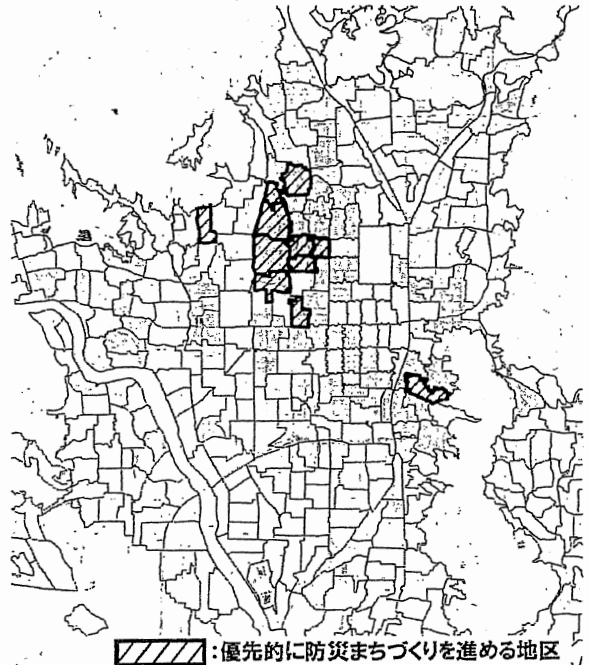
優先的に防災まちづくりを進める地区

【選定方法】
 国が示す全国共通の指標に、木造住宅の建て詰まり、細街路の密集度等の京都市の特性を加味（京都市の特性を踏まえた指標等）

- ・木建ぺい率（木造建物の建て詰まり）
- ・通過障害率（災害時における道路が閉塞する割合）
- ・木造住宅の広がり状況
- ・地区内の道に占める細街路の割合

【選定地区】
11地区 約360ha

北 区：紫野（西地区）、柏野
 上京区：翔鸞、仁和、正親、聚楽、出水
 中京区：朱雀第一（北地区）、朱雀第二
 東山区：六原
 右京区：御室（北東地区）



●取組の進め方

- ・これまで市民が培ってきた自主防災の精神を最大限に活かし、地域と行政との継続的な連携のもと、地域にとって最適な取組を考え、実行
- ・これらの地区以外にも、地域からの要望等を踏まえ、防災まちづくりの支援を行う

今後のスケジュール

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度以降
密集市街地対策	取組方針の策定 具体的取組の取りまとめ	各種制度の制定 各種事業の創設	個別事業（街並み環境整備事業等）の活用検討・実施		
		道路指定基準や条例等の整備	細街路対策事業の実施・拡充		
優先地区における取組	仁和				
	六原				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
その他要望のある地区					

行政区別に見た空き家の状況

行政区別に見ると、空き家数については、伏見区が最も多く16,540戸（空き家率11.9%）、次いで左京区が14,670戸（空き家率15.5%）、右京区が13,500戸（空き家率13.0%）となっている。

また、空き家率については、最も高い東山区で20.3%となっており、次いで北区が16.8%、下京区が16.0%となっている。一方、西京区は、全行政区で唯一10%未満となっている。

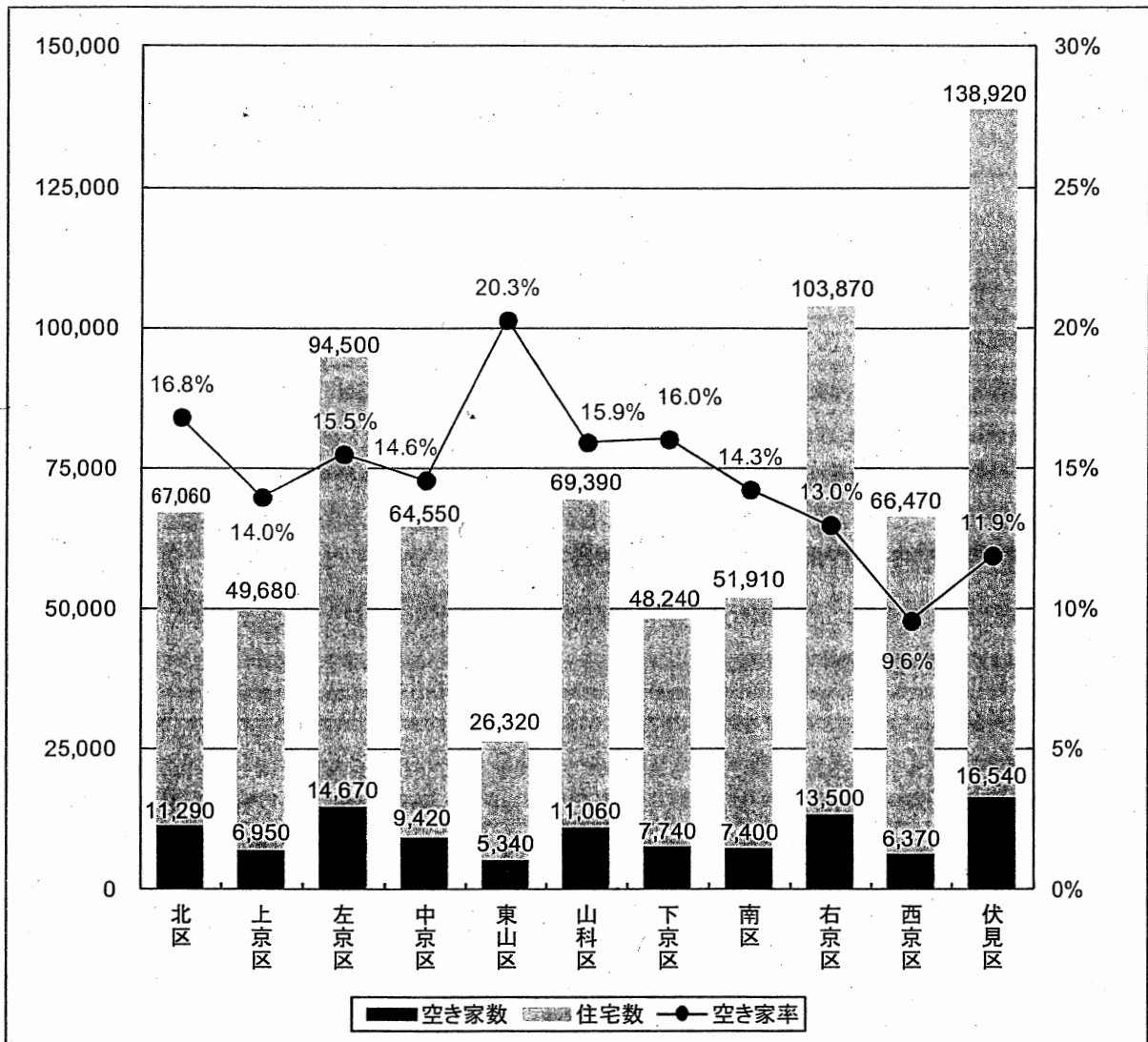


図2 行政区別に見た空き家数・空き家率（資料：平成20年住宅・土地統計調査）

（2012年11月 空き家対策検討委員会資料）

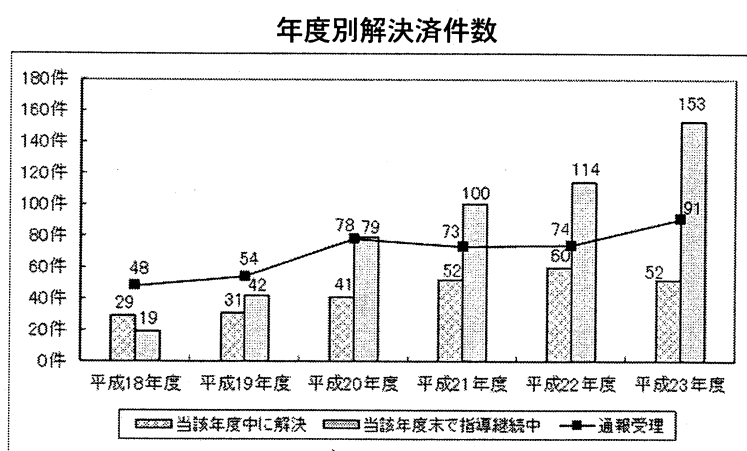
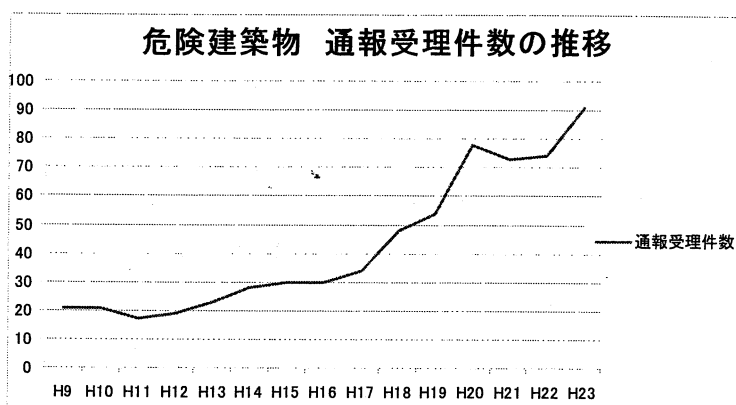
危険建築物対策の現状

(1) 危険建築物通報受理件数と年度別解決済件数（平成18年度～平成23年度）

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
通報受理件数	48	54	78	73	74	91
当該年度中に解決済となった件数	29	31	41	52	60	52
当該年度末で指導継続中の件数	19	42	79	100	114	153

※「当該年度中に解決済となった件数」には、過年度に通報受理したものを含む。

※平成24年度の通報受理件数については、9月末時点で68件となっている。



(2) 危険建築物指導における解決率の推移（平成18年度～平成22年度）

解決までに要する期間	通報受理年度				
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
通報受理から1年以内	64.6%	66.7%	50.0%	61.6%	54.1%
2年以内	70.8%	74.1%	60.3%	71.2%	<u>67.6%</u>

※下線のある数値は、平成24年9月末までの値である。

(2012年11月 空き家対策検討委員会資料)

交通バリアフリー全体構想の「重点整備地区」

1 重点整備地区（10 地区、11 旅客施設）

旅客施設のバリアフリー化に当たり、「移動等円滑化基本構想」を策定することについて、公共交通事業者との協議が整った、次の10地区を「重点整備地区」に選定しました。

「重点整備地区」に位置付けた旅客施設については、公共交通事業者のバリアフリー化整備に向けた準備状況を勘案しながら、「重点整備地区」ごとに、地域住民、利用者代表、公共交通事業者、関係行政機関が参画する「バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」を設置し、「移動等円滑化基本構想」を策定します。

「重点整備地区」内における公共交通事業者や道路、交通安全施設等、各施設の設置管理者は、「基本構想」策定後、速やかに、「基本構想」に盛り込まれた改善方策について特定事業計画を策定し、互いに連携しながら、集中的かつ効率的にバリアフリー化事業を実施します。

公共交通事業者名 グループ名	JR 西日本	京阪	阪急	京福	「基本構想」策定期
グループ A	太秦駅 JR 藤森駅 桃山駅	深草駅	大宮駅 上桂駅 嵐山駅 松尾駅		平成 24 年度 ～ 平成 30 年度
グループ B	西大路駅		西院駅	西院駅	

- ・ グループ A 公共交通事業者から事業化の意向が示され、バリアフリー化整備を図るための条件等が整っている地区
- ・ グループ B 公共交通事業者から事業化に向けての意向が得られているものの、バリアフリー化整備に向けて、調査や関係機関との調整等に多くの時間を要する地区

2 事業者単独整備地区（3 地区、3 旅客施設）

一定のバリアフリー化が実施されており、「移動等円滑化基本構想」を策定せず、事業者が単独でバリアフリー化を図ることとした、以下の3地区を「事業者単独整備地区」に選定しました。

- | | | |
|-----------|----------|--------------|
| ・ 近鉄上鳥羽口駅 | ・ 叡電出町柳駅 | ・ 北大路バスターミナル |
|-----------|----------|--------------|

3 引き続き改善方策を検討する地区（2 地区、2 旅客施設）

「特定旅客施設」のバリアフリー化のために必要な用地の確保が難しい等の理由により、具体的な改善方策を引き続き検討することとした、以下の2地区を「引き続き改善方策を検討する地区」に選定しました。

- | | |
|---------|------------|
| ・ 京阪墨染駅 | ・ 京福北野白梅町駅 |
|---------|------------|

(2012 年 3 月 「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想)

- 2012 年度 太秦地区・大宮地区で市民意見募集、「移動等円滑化基本構想」策定
- 2013 年度 JR 藤森地区・深草地区・西院地区で、「移動等円滑化基本構想」策定

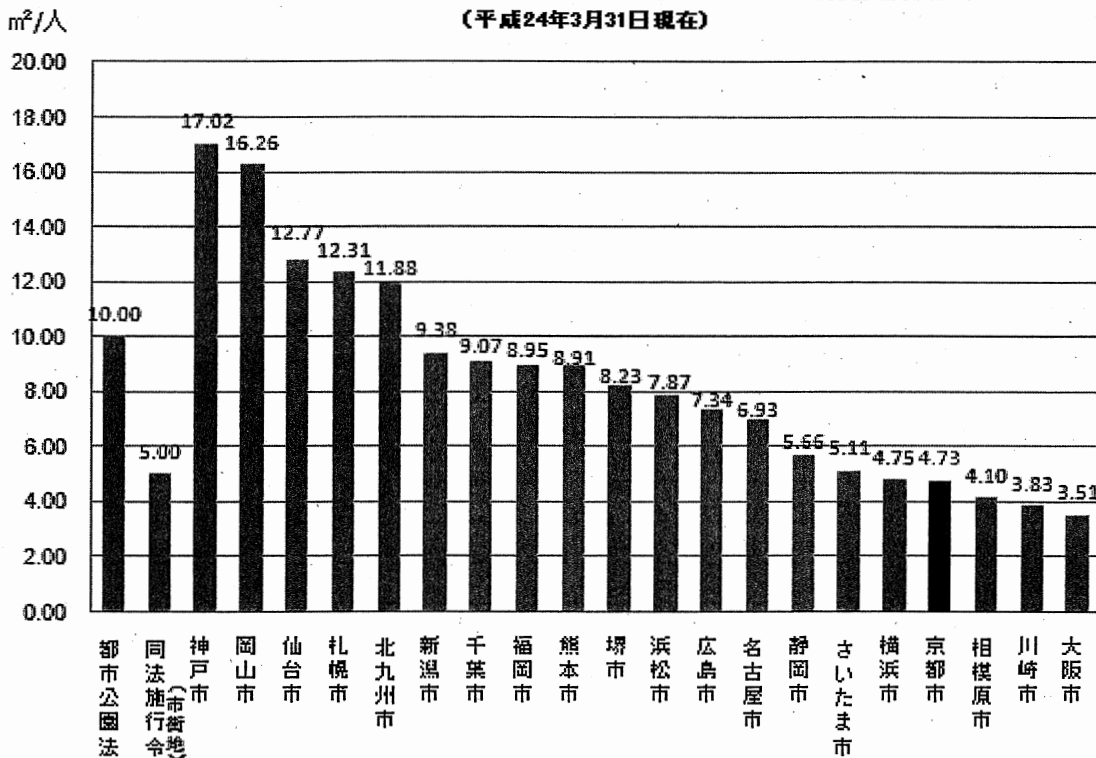
市民一人あたりの公園面積の政令市比較

京都市は、三方を緑の多い山に囲まれていること、神社、仏閣及び名勝地が散在していることから、大都市の中では自然の風光に恵まれている。

しかし、本市における市民1人当たりの公園面積は4.73㎡であり、都市公園法施行令には「住民1人当たりの公園面積の標準は10㎡以上」と規定されていることから、公園の整備に努めている。

政令指定都市市民一人当たりの公園面積比較表

(平成24年3月31日現在)



※ 仙台市については、大震災のため集計ができず前年度の数値である。

(2012年度 建設局「事務事業概要」)

見直し対象となる都市計画公園・緑地の一覧（2012年3月現在）

NO.	種別	名称	行政区	都市計画決定後の経過年数	全体面積 (ha)	着手面積 (ha)
1	広域	宝池	左京区	69年	128.9	66.2
2	〃	大見	左京区	31年	107.3	107.3
3	運動	西京極	右京区	49年	19.1	1.0
4	〃	横大路	伏見区	38年	18.4	2.1
5	総合	岡崎	左区・右区	52年	15.0	1.0
6	地区	塔ノ森	南区	38年	5.4	5.4
7	〃	淀城跡	伏見区	10年	3.4	1.7
8	近隣	唐橋西寺児童	南区	75年	1.2	0.1
9	〃	太秦	右京区	71年	1.9	1.8
10	〃	三栖	伏見区	71年	2.5	0.2
11	〃	西野	山科区	69年	2.6	2.5
12	〃	西中	左区・右区	68年	2.7	2.6
13	〃	朱雀	中京区	68年	3.1	1.2
14	〃	小松原	北区	66年	2.3	2.3
15	〃	東吉祥院	南区	66年	2.9	1.9
16	〃	二条	中京区	65年	2.2	1.6
17	〃	伏見	伏見区	64年	2.5	0.2
18	〃	深草西浦南	伏見区	45年	1.7	0.2
19	〃	竹田	伏見区	38年	2.5	0.4
20	街区	生祥児童	中京区	65年	0.13	0.06
21	〃	五辻児童	上京区	65年	0.22	0.22
22	〃	西九条児童	南区	63年	1.13	0.56
23	〃	三条東児童	東山区	52年	0.17	0.08
24	〃	楽只児童	北区	61年	0.31	0.31
25	〃	崇仁児童	下京区	59年	0.42	0.42
26	〃	松賀茂児童	左京区	55年	0.54	0.34
27	〃	桜島児童	伏見区	53年	0.22	0.11
28	〃	先斗町	中京区	51年	0.15	0.09
29	〃	薩田	左京区	44年	0.20	0.20
30	〃	西河原北	左京区	23年	0.22	0.22
31	〃	醍醐辰巳	伏見区	23年	0.34	0.01
32	〃	川田	山科区	20年	0.25	0.02
33	〃	戒光	南区	19年	0.32	0.32
公園計					330.2	202.7
34	緑地	桂川緑地	右京区・西京区・南区・伏見区	41年	488.5	461.2
35	〃	東山自然緑地	山科区	39年	20.4	1.8
緑地計					508.9	463.0
合計					839.1	665.7

●見直しの趣旨 長年にわたり事業に着手していない都市計画公園・緑地の見直しを行うもの

●今後の日程 2013年2月 個別の都市計画公園・緑地の存続・廃止について市民意見募集
2013年度以降 説明会・公聴会の開催などをふまえ、都市計画審議会で決定

京都高速道路（油小路線・新十条通）の月別利用交通量

	油小路線	新十条通	(単位：台/日)
平成22年 1 月	9,000	2,000	
2 月	9,400	2,000	
3 月(※1)	13,500	2,400	
4 月	16,300	2,400	
5 月	19,000	2,900	
6 月	15,700	2,400	
7 月	16,600	2,600	
8 月	18,100	2,800	
9 月	17,500	2,500	
10 月	17,200	2,500	
11 月	18,600	2,700	
12 月	17,100	2,700	
平成23年 1 月	16,400	2,500	
2 月	16,700	2,500	
3 月(※2)	18,200	2,700	
4 月	19,200	4,000	
5 月	19,100	4,300	
6 月	21,800	4,700	
7 月	19,800	4,400	
8 月	21,900	4,900	
9 月	20,500	4,300	
10 月	21,100	4,600	
11 月	22,500	4,900	
12 月	22,300	5,200	
平成24年 1 月	20,600	4,300	
2 月	20,900	4,600	
3 月	23,600	5,000	
4 月	22,800	4,800	
5 月	25,000	5,600	
6 月	22,300	4,700	
7 月	22,900	5,000	
8 月	25,700	5,700	
2路線開通時の計画交通量	37,000	23,000	

※1 平成22年3月20日 第二京阪道路全線開通

※2 平成23年3月27日 油小路線斜久世橋区間開通

(2012年9月 建設局資料)

高速道路3路線の抜本的見直しへ（第1回検証専門委員会資料より）

3. 現状と課題

(1) 京都高速道路の整備を取り巻く事業環境の変化

都市計画決定から、20年近く経過するなか、京都高速道路の整備を取り巻く事業環境が大きく変化している。

一方、都市計画道路の区域内では、事業の円滑な施行を目的として、建築物の階数や構造に関する建築制限が設けられていることから、事業の見通しが明らかにならなければ、地権者にとって生活設計が立てづらいなどの問題を有する状況にある。

① 事業化に向けた具体的検討の課題

未供用3路線（堀川線、西大路線、久世橋線）の事業化にあたって、多大な事業費（合計：約2,900億円）が必要となっている。

さらに、事業主体（国、阪神高速道路㈱、京都市など）も決まっておらず、事業化に向けた具体的な検討が行えない状況にある。

<未供用3路線の事業費:参考>

	概算事業費
堀川線	1,200億円
久世橋線	600億円
西大路線	1,100億円
小計	2,900億円

※事業費は平成16年国会での政府参考人の答弁による

② 京都市における防災・減災対策の推進

事業化に向けた具体的な検討が行えないなか、平成23年3月に発生した東日本大震災を受け、京都市では、橋りょうの耐震補強及び老朽化修繕をはじめとする防災・減災対策を重点的に推進する方針を決定している。

しかし、これらの防災・減災対策には、多額の事業費が必要である。

③ 京都高速道路の抜本的見直し

防災・減災対策を重点的に推進するという方針を受け、京都高速道路の残る3路線は、今後20～30年にわたり、事業化は極めて困難であることが明らかになった。

このような状況を受け、京都市では、平成24年3月に策定した「はばたけ未来へ！^{みやこ}京プラン（京都市基本計画）」実施計画（平成24年度～27年度）において、「京都高速道路3路線の抜本的な見直し」を掲げている。

このように、京都高速道路の残る3路線について、改めて事業着手可能年次（20～30年後）における都市計画上の必要性や費用対効果などを原点から検証する必要がある。

御池通等のまちかど駐輪場の利用状況 (2012年8月実績・建設局)

駐輪場名	箇所	収容台数 (台)	稼働率 (%)
御池通まちかど駐輪場	河原町1	93	283.8%
	河原町2	52	279.9%
	河原町3	63	279.0%
	烏丸1	20	153.9%
	烏丸2	25	199.6%
	烏丸3	20	214.5%
	烏丸4	86	92.5%
	烏丸5	17	267.2%
	烏丸6	42	179.3%
	合計	418	217.5%
二条駅まちかど駐輪場	西口	203	314.7%
	東口	68	218.3%
	合計	271	290.5%
四条大宮まちかど駐輪場	四条大宮	141	199.2%

私道整備助成制度の実績 (過去5年間)

舗装の新設工事	年度	件数	延長 (m)	面積 (㎡)	助成額 (千円)
	19	2	46	133	215
	20	2	122	332	432
	21	4	135	298	477
	22	1	37	85	235
	23	2	168	356	933

* 助成額：標準工事費の3/4

(平成10年度までは2/3, 平成11年度～平成21年度まで1/2)

舗装の補修工事	年度	件数	延長 (m)	面積 (㎡)	助成額 (千円)
	19	5	955	3,781	7,184
	20	5	428	1,086	1,645
	21	4	227	417	780
	22	6	612	1,854	9,393
	23	5	271	805	4,783

* 助成額：標準工事費の3/4

(平成9年度までは2/3, 平成10年度～平成21年度まで1/2)

L型街渠	年度	新設・補修	件数	延長 (m)	助成額 (千円)
	22	新設	0	0	0
		補修	3	376	3,755
	23	新設	0	0	0
補修		2	262	1,314	

* 助成額：標準工事費の3/4 (平成22年度から事業実施)

(2012年度 建設局「事務事業概要」)

都市防災上 重要な橋りょう（今後、耐震補強を実施する橋りょう）

ステップ	区	橋りょう名	所在地	路線名	橋長 (m)	幅員 (m)	橋種	健全度
緊急輸送道路上の橋りょう (28橋)	重要路線上の橋りょう (15橋)	1-1 北区・左京区 北大路橋	左京区下鴨上川原町	国道367号	97	22.7	鋼橋	B2
		1-1 左京区 徳成橋	左京区岡崎徳成町	京都環状線	23	19.8	鋼橋	A
		1-1 左京区 花園橋	左京区上高野山ノ橋町	岩倉山端線	28	22.1	鋼橋	B1
		1-1 左京区・中京区 御池大橋	中京区上木槿町	二条停車場東山三条線	82	29.8	鋼橋	C
		1-1 東山区・南区 九条跨線橋	東山区本町14丁目	四ノ宮四ツ塚線	418	18.8	RC橋	C
		1-1 東山区・南区 陶化橋	東山区福福川原町	河原町十条親月橋線	91	22.8	鋼橋	A
		1-1 山科区 射庭の上橋	山科区西野山射庭ノ上町	勧修寺今熊野線	20	20.8	鋼橋	B1
		1-1 山科区 柳辻橋	山科区柳辻封シ川町	大宅西野山線(3)	36	21.8	PC橋	A
		1-1 右京区 京北橋	右京区京北周山町	国道162号	64	16.9	PC橋	B2
		1-1 右京区 筒江橋	右京区京北上弓削町	国道162号	39	15.0	鋼橋	A
		1-1 右京区 出口橋	右京区京北五本松町	国道162号	28	14.8	鋼橋	A
		1-1 伏見区 納所橋	伏見区納所星柳	京都守口線	16	18.3	RC橋	B1
		1-1 伏見区 羽東師橋	伏見区羽東師鴨川町	伏見柳谷高槻線	742	16.0	鋼橋	B2
		1-1 伏見区 三栖高架橋	伏見区三栖四丁目	親月橋横大路線	476	17.0	鋼橋	B1
		1-2 東山区 今熊野橋	東山区今熊野宝蔵町	四ノ宮四ツ塚線	22	22.5	鋼橋	C
	架替予定の橋りょう (2橋)	1-2 北区 御菌橋	北区上賀茂御菌口町	上賀茂緯440号線	69	11.6	鋼橋	C
		1-2 伏見区 宮前橋	伏見区淀大下津町	奥海印寺納所線	271	9.8	鋼橋	C
	その他の橋りょう (11橋)	1-2 右京区・西京区 松尾橋	右京区梅津大綱場町	宇多野嵐山山田線	200	11.0	RC橋	C
		2 北区・左京区 北山大橋	北区小山東元町	北山通(1)	84	19.6	鋼橋	B2
		2 上京区・左京区 丸太町橋	上京区俵屋町	鹿ヶ谷嵐山線	92	22.8	鋼橋	B2
		2 左京区 河合橋	左京区下鴨宮河町	柳通	59	10.9	鋼橋	B2
		2 左京区 田辺橋	左京区下堤町	川端通(2)	18	35.3	RC橋	B2
		2 左京区 松ヶ崎橋	左京区松ヶ崎小竹藪町	上賀茂山端線	42	22.8	鋼橋	B2
		2 右京区・西京区 桂橋	西京区桂浅原町	宮掛西大路五条線	306	13.0	鋼橋	B1
		2 西京区 新西川橋	西京区大枝塚原町	大枝38号線	40	17.8	鋼橋	B2
		2 伏見区 京橋	伏見区京橋町	伏見港京都停車場線	31	16.1	鋼橋	B2
		2 伏見区 中之郷橋	伏見区深草直達橋二丁目	大津淀線	17	10.8	RC橋	C
		2 伏見区 淀高架橋	伏見区淀木津町	宇治淀線	228	8.6	RC橋	C
鉄道や道路をまたぐ橋りょう (24橋)	新幹線・緊急輸送道路をまたぐ橋りょう (3橋)	1-1 左京区 山端跨線橋	左京区山端大塚町	白川通(1)	199	14.0	PC橋	B2・C
		1-1 東山区 伏見街道跨線橋	東山区本町9丁目	本町通(1)	53	3.2	鋼橋	C
		1-1 山科区 大石道跨線橋	山科区上山山久保町	大石道	37	2.3	鋼橋	C
	その他の橋りょう (21橋)	1-2 南区 西国街道高架橋	南区久世中久世町	上久世石見上里線	192	7.7	RC橋	C
		2 東山区 北谷跨線橋	東山区今熊野宝蔵町	-	29	2.2	鋼橋	C
		2 東山区 醍醐街道跨線橋	東山区南瓦町	醍醐道	22	1.9	鋼橋	C
		2 東山区 大和大路跨線橋	東山区今熊野池田町	大和大路通	24	2.8	鋼橋	C
		2 山科区 北花山第2跨線橋	山科区北花山寺内町	山科北花山経11号線	38	2.2	鋼橋	C
		2 山科区 御坊ノ内跨道橋	山科区小山御坊ノ内町	山科小山経22号線	14	2.8	PC橋	A
		2 山科区 花山跨線橋	山科区北花山寺内町	勧修寺日ノ岡線	57	9.3	鋼橋	B1
		2 下京区・南区 大宮跨線橋	下京区八条坊門町	七条大宮四ツ塚線	270	13.8	鋼橋	C
		2 右京区 綾小路跨線橋	右京区西院北矢掛町	綾小路通	15	6.5	RC橋	B1
		2 右京区 嵐山高架橋	右京区嵯峨天龍寺造路町	宇多野嵐山山田線	540	8.9	PC橋	B2
		2 右京区 井御料橋	右京区西院北矢掛町	佐井西通(4)	15	6.6	RC橋	C
		2 右京区 鳥居本橋	右京区嵯峨鳥居本一筆表町	釈迦堂清滝道	5	7.2	RC橋	B1
		2 右京区 野々宮跨線橋	右京区嵯峨野々宮町	嵯峨経195号線	16	2.9	鋼橋	C
		2 伏見区 飯食橋	伏見区深草飯食町	大津淀線	4	10.7	RC橋	C
		2 伏見区 御香橋	伏見区桃山毛利長門西町	毛利橋通	15	5.0	PC橋	B1
		2 伏見区 千本橋	伏見区深草大亀谷東寺町	深草緯112-1号線	14	10.8	PC橋	A
		2 伏見区 醍醐跨道橋	伏見区醍醐西大路町	醍醐経76号線	11	16.8	PC橋	A
		2 伏見区 中書島橋	伏見区三栖向町	向島緯65号線(2)	30	6.9	PC橋	B1
		2 伏見区 寺町人道橋	伏見区深草大亀谷東寺町	深草緯107号線	21	2.5	鋼橋	C
		2 伏見区 乃木橋	伏見区桃山町伊賀	桃山経50号線	15	5.2	PC橋	B1
		2 伏見区 東丹波橋	伏見区桃山井伊掃部西町	丹波橋通(1)	15	6.8	PC橋	B1

ステップ1-1 : 5年以内に耐震補強の完了が可能な橋りょう

ステップ1-2 : 5年以内に耐震補強に着手し、耐震補強の完了が工程上6年目以降となる橋りょう

ステップ2 : 耐震補強の着手、完了が6年目以降となる橋りょう

(2011年12月 建設局資料)

特に老朽化修繕を急ぐ必要がある橋りょう

ステップ	区	橋りょう名	所在地	路線名	橋長 (m)	幅員 (m)	橋種	健全度
1-1	北区	中の町橋	北区小野中ノ町	国道162号	5	7.6	RC橋	C
1-1	左京区	大鷲3号橋	左京区岩倉大鷲町	上高野播枝線	4	27.0	RC橋	C
1-1	左京区	開花橋	左京区花背大布施町	国道477号	23	4.6	鋼橋	C
1-1	左京区	川岸橋	左京区山端川岸町	国道367号	10	11.1	RC橋	C
1-1	左京区	熊野橋	左京区聖護院蓮華蔵町	熊野道	22	10.8	RC橋	C
1-1	左京区	光砥口橋	左京区広河原能見町	久多広河原線	19	4.0	鋼橋	C
1-1	左京区	御所谷橋	左京区岩倉長谷町	岩倉2号線	5	3.4	鋼橋	C
1-1	左京区	地藏寺橋	左京区鞍馬本町	—	10	2.2	鋼橋	C
1-1	左京区	蛸谷橋	左京区八瀬花尻町	国道367号	4	6.7	RC橋	C
1-1	左京区	戸寺橋	左京区大原戸寺町	国道367号	6	9.6	RC橋	C
1-1	中京区	三条橋	中京区西ノ京新建町	京都環状線	5	27.7	RC橋	C
1-1	中京区	高瀬川御池橋	中京区下丸屋町	二条停車場東山三条線	8	49.7	鋼橋	C
1-1	中京区・左京区	二条大橋	中京区鉾田町	二条通	85	12.6	鋼橋	C
1-1	東山区	菊屋橋	東山区石橋町	四ノ宮四ツ塚線	10	23.0	鋼橋	C
1-1	山科区	四ノ宮高架橋	山科区四ノ宮泓	四ノ宮四ツ塚線	88	8.8	PC橋	C
1-1	山科区	高岩橋	山科区大塚高岩	山科大塚経17号線	33	6.6	鋼橋	C
1-1	山科区	天神橋	山科区大塚大岩	山科大塚経30号線	33	6.6	鋼橋	C
1-1	山科区	柳辻3号橋	山科区柳辻東濱	大宅西野山線(1)	5	20.1	RC橋	C
1-1	南区	上鳥羽橋	南区上鳥羽川端町	中山稻荷線	35	6.6	鋼橋	C
1-1	右京区	堂の橋	右京区京北上弓削町	国道162号	5	7.2	鋼橋	C
1-1	右京区	細野谷橋	右京区京北細野町	国道162号	4	7.9	RC橋	C
1-1	右京区	宮ノ辻橋	右京区京北細野町	国道162号	13	8.6	RC橋	C
1-1	右京区	— (無名)	右京区京北上弓削町	国道162号	3	11.6	BOX	C
1-1	右京区	八幡橋	右京区梅ヶ畑向ノ地町	国道162号	5	13.0	RC橋	C
1-1	伏見区	池田橋	伏見区醍醐池田町	外環状線(1)	7	15.6	RC橋	C
1-1	伏見区	越前橋	伏見区越前町	清水町通	17	4.3	RC橋	C
1-1	伏見区	景勝橋	伏見区景勝町	木挽町通	19	6.1	鋼橋	C
1-1	南区・伏見区	京川橋	伏見区中島河原田町	伏見向日線	116	12.2	RC橋	C
1-1	伏見区	師団橋	伏見区深草野田町	深草線149号線(1)	17	12.3	鋼橋	C
1-1	伏見区	砂川橋	伏見区深草綿森町	中山稻荷線	17	10.7	RC橋	C
1-1	伏見区	丹波橋	伏見区丹波橋町	丹波橋通(1)	16	5.6	鋼橋	C
1-1	伏見区	土橋	伏見区土橋町	伏見港京都停車場線	18	6.6	鋼橋	C
1-1	伏見区	蓬莱橋	伏見区南浜町	納屋町通	18	5.5	RC橋	C
1-1	伏見区	南真幡木五号橋	伏見区竹田東小屋ノ内町	新城南宮道	2	27.8	RC橋	C
1-2	上京区・左京区	賀茂大橋	上京区梶井町	銀閣寺宇多野線	141*	23.2	鋼橋	C
1-2	上京区・左京区	荒神橋	上京区亀屋町	春日緯6号線	110	10.7	RC橋	C
1-2	東山区	古門前橋	東山区石橋町	弥栄経3号線	17	7.0	鋼橋	C

特に老朽化修繕を急ぐ必要がある橋りょう(37橋)

ステップ1-1 : 5年以内に老朽化修繕の完了が可能な橋りょう

ステップ1-2 : 5年以内に老朽化修繕に着手し、老朽化修繕の完了が工程上6年目以降となる橋りょう

(2011年12月 建設局資料)